

令和 4 年度 第 3 回 稲敷市外部評価委員会

発言者	発 言 内 容
-----	---------

（４）稲敷工業団地開発推進事業 （企業誘致推進室） 「現状維持」

①質疑応答

委員	稲敷市は企業誘致をよくやってくださっているとまずは評価させていただきます。その上での意見なのですが、今までやってきたことで充分かと言いますと、もっと濃密にやっていただいた方が税収の安定にも繋がりますので、今後も進めていただきたいという思いがあります。その中で工場適地が少ないのが稲敷市ですが、稲敷インター周辺など未開発の土地をまだ開発できるのではないかと思いますのですが、いかがでしょうか。
企業誘致推進室	稲敷工業団地の残りが 3.9ha のみとなっております。担当でも拡充できる所や、新たに工業用地として作れる場所等はないか調査はしています。インター周辺は指定路線という事で、1km 以内には工業立地が可能です。その他、工業団地は県でも二期工事・拡張をしている所もありますので、既存の工業団地で拡張できる所がないのか、また高田に工業専用地域がありますので、そこで何かできないかの調査をしているところです。
委員	提案なのですが、下根本の土砂取り跡地が崖地化しているので、大雨の際などには地元の方が危機感を持っていると思います。市の責任問題にもなりかねない大災害の危険を孕んでいます。その土地を工業用に開発はできないのでしょうか。さらに言えば、地元の人が心配しているような場所なので、安く買えないのでしょうか。災害対策にもなり、工業団地造成にも寄与しますので、一挙両得になるのではないかと思いますのですが。
企業誘致推進室	地権者の数や区域、大通りからの進入路が確保できるのかなどを調査してみる必要はあるかと思います。
委員	一番は電力と水道ですよね。龍ヶ崎の工業団地の方から引っ張ってこれるのではないかと思います。
企業誘致推進室	そのあたりも調査をしてみたいと思います。
委員	適地があれば積極的に調査して進めていくという方向なのですね。
企業誘致推進室	はい、そうです。
委員	下根本については適地であれば、防災の観点からも利活用できると望ましいですね。稲敷東インター周辺は開発して行く方向性なのではないでしょうか。

企業誘致推進室	あの場所は計画として、ある会社が開発をしようとしていたのですが、いろいろとスムーズにはいかない問題もあるようなので、市としては追加で開発できないかと検討しているところです。
委員	必ずしもやってください、という訳ではないのですが、少なくともアクセス道路が広がって期待感を持っています。農振だと外すのも難しいと思いますので。
委員	農村地域工業等導入促進法というのがありまして、20ha あれば工業団地なら開発できるのですよ。農業者の就労先として大規模開発ができます。
委員	周りは田んぼが多いので、環境を破壊しないように慎重に進めていただきたいです。
企業誘致推進室	おっしゃるとおり、広大な農地というのは魅力でもあります。この場所はハザードエリアなので、工業団地として投資して開発したところで企業様に来ていただけるのかという問題もあります。
委員	私は若い頃に、小貝川が氾濫してあの土地が沈んだのがトラウマになっていますが、皆さんはご存知ありませんか。難しいかとは思っているのですが、それでもインターのそばなので上手くいくことを願っています。
企業誘致推進室	まさにそのとおりで、例えば農振を活かした開発もできないわけではありません。無理なく稲敷の特性を活かした開発を実現するのが理想です。
委員	ありがとうございました。
委員	担当課評価の市民満足度が「概ね満足していると思われる」と書いてありますが、この市民とはどなたなのでしょう。
企業誘致推進室	工業団地ができているわけではないので、何かと考えますと、苦情がないですとか、市民の方には理解していただいているのかなという形でそのようになっております。
委員	市民満足度というのは工業団地ができ、就労機会が増えるなど、労働に結び付くと思うのですが、市民がそこで働けるという取組、教育や訓練などは考えていらっしゃいますか。
企業誘致推進室	立地が決まっている企業様は地元の方を採用したいということで、高校を回って採用をしようとしています。ただし、残念ながらまだ工業団地ができおりませんので、本社のある東京に勤めたいという高校生がおらず断られている状況です。工業団地が完成してからという話になるかもしれませんが、継続的に地元の高校へは採用担当と共に伺い、雇用の創出には

	努めて参ります。大きい会社なので、パートタイマーや正社員での採用もあるかと思しますので、その際にも協力したいと考えています。
委員	企業誘致をされると思うのですが、この工業団地の売りはどう捉えていますか。他の同じような自治体が工業団地を作ると言った場合にどのような戦略で企業誘致を進めようとお考えですか。
企業誘致推進室	今回の稲敷工業団地ですが、圏央道 IC が近いということと、ハザードエリアではないということが大きな売りになっています。ハザードエリアを気にされる企業様は非常に多く、踏み留まる方もいらっしゃいますので、この2点が大きなところと考えています。
委員	長期的・持続的であるのが望ましいと考えますが、どんな企業をターゲットにしていますか。
企業誘致推進室	地区計画上ですと、工業専用地域のエリアになりますので、物流や製造業の方が来ていただけるのが望ましいですが、実際に来ていただくのはあくまで企業様になりますので、手を挙げていただいた企業が適正かどうかは茨城県の開発公社と稲敷市共同で選別ができれば良いと思っています。
委員	最後ですが、この事業のリスクは何か考えていらっしゃいますか。
委員	誘致した企業が倒産するなどがありますが。
企業誘致推進室	はい、当然我々としましては、永續する企業を選んで参りますが、どうしても上手くいかない場合は空いてしまいますので、他の工業団地と同じく、誘致活動をして埋めて行くというのを丁寧にやっていくしかないと思います。また、現在はあくまでも依頼があってから開発をしておりますので、リスクは低いかと思われます。
委員	オーダーメイドの分譲で、誘致活動の際には企業の審査も行われていきますよね。
企業誘致推進室	さまざまなフローがありまして、工場調査や企業の情報などを見て、市と開発公社で協働して立地へのリスクを審査しております。そのような形で見極めて行くしかないかと思っています。
委員	物流とおっしゃいましたが、物を運ぶだけで雇用されるのか、それとも ICT を使える人材として雇用されるのか、就労される市民の方々の賃金、永續的に働けるかというところにも関わって来るかと思うのですが、人材開発や、長期的に雇用が担保されるような技術開発などには何か戦略みたいなものは持っていますか。

企業誘致推進室	あまり答えになっていないかもしれませんが、長期的なお話という意味では、まずは基盤をきちんと整備して、その基盤にずっと居ていただける企業様や、雇用していただける企業様を我々は選んでいます。ひいてはこれらがそういう戦略になるのでは無いかと考えています。
事務局	付け加えますと、採用活動で高校を回っているという点で、今の高校生は地元志向が強く、東京にはあまり就職しないというお話がありましたが、例えば先輩が就職した企業に自分も就職するというような話を聞いておりますので、まだ実績はありませんが、地元の高校生が1人でも2人でも入っていただければそこからツテができて、インターンシップなどへ広げられる可能性はあるかと思っておりますので、早く実績を作って継続的に地元の学生が就職できるような環境を作っていければと考えています。
委員	企業は地元で雇用したいわけですから、雇う人がいないという場所には来ません。ですので、若手がありますとか、高校があります、人材教育できていますというファクターも企業誘致推進室で持っているといいと思います。若者がいるかどうかは企業にとっても魅力だと思います。
委員	経済的・長期的に稲敷市にとってこの事業はメリットがあるのか、誘致を進めて行くときの企業の大きさや優良企業かどうかなどは、開発公社と調べて行くと思うのですが。
企業誘致推進室	はい。市でも独自に帝国データバンクで企業の信用調査等をした上で、公社も同じことをしています。それを共有して、精査しております。
委員	工業団地の水道料金はどうなっているのですか。
企業誘致推進室	一般と同じです。
委員	同じということは、料金は高いのですね。わかりました。
委員	より高い賃金をもらえるような人材を育成して雇用してもらえると、市にも還元されるのかなと思いました。高い賃金を払ってもらえれば、高い税金を払ってもらえます。そのためには技術や知識の開発というのにも協力する必要があるのかと思います。
委員	新しく作る方に目が行っていますが、既存の工業団地の空き地など、再整備や見直しは行っていますか。
企業誘致推進室	空き地はおかげさまで現在ありません。また、現実問題として、いま立地していただいている企業様に対して人を雇っていないから出て行ってくれというのは難しいところではあります。

委員	把握しているのなら大丈夫です。先ほどから就労の問題になっていて、高校に働きかけているということですが、稲敷には工業系の高校はないので、カリキュラムに工業系を入れてもらうというのはできませんか。
事務局	確かに江戸崎総合高校にはありませんが、稲敷から土浦など周辺の工業高校などに通っている生徒さんはいらっしゃるそうですので、そちらにも定期的に訪問をしまして、企業に来てくださる人材を探して行くという意味で継続して行きたいと思っています。
委員長	はい、ありがとうございます。
企業誘致推進室	ありがとうございました。

②議論

委員長	こちらは拡充２名、現状維持３名です。 聞けなかったのですが、上手く行っているにも関わらず、担当課評価も３担当評価も現状維持なのは何故なのでしょう。
事務局	拡充と言っても、新しい用地が決まっているわけでもなく、調査の段階でもありませんので現状をキープしつつ新たな計画を目論んで行くという位で良いかと考えた結果だと思います。
委員長	先ほどの発言の中でも拡充の調査はされていると仰っていましたよね。
委員	執行率が低いと思いました。執行率の試算をどういう判断に結び付けるべきかよくわかりませんでした。
委員	多めに予算を付けているのではないのでしょうか。
委員	予算を使えていないから余っており、現状維持的な方向と感じます。
委員長	現状のままでもしっかりやられておりますね。

③評価判定

委員長	それでは、こちらは現状維持とさせていただきます。
委員一同	異議なし。
	→ <u>現状維持</u>